クイックスタートガイド

JP



MONITOR PILOT

Multi-Monitor Switching Control Station with
Elegant Desktop Controller and Calibrated Listening

V 1.0

tc electronic

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、 電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

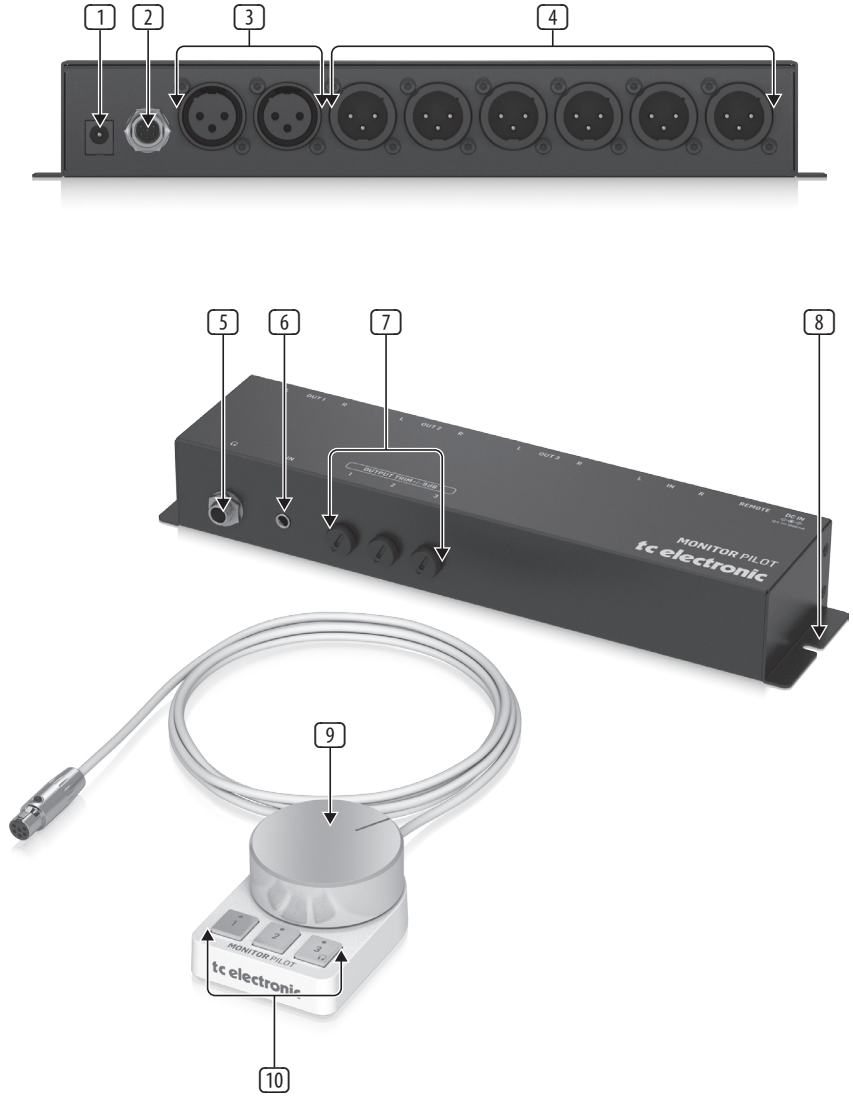
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または-登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

MONITOR PILOT クイックスタートガイド

JP



JP コントロール

1. **DC IN（DC 入力）** – 付属の電源ケーブルを接続します。
2. **REMOTE（リモート）** – 6 ピン式リモートケーブルを接続すると、ロッキングタブが適切な位置に揃います。
3. **MAIN LR INPUTS（メイン LR 入力）** – バランス XLR ケーブルを通じてメインステレオ入力を接続します。
4. **MAIN LR OUTPUTS（メイン LR 出力）** – ステレオモニタースピーカーを 3 ペアまで接続可能です。Out 3（出力 3）を有効にするとヘッドフォン出力も有効になります。
5. **HEADPHONE OUT（ヘッドフォン出力）** – ¼ インチ TRS ケーブルでヘッドフォンを接続します。
6. **AUX IN（AUX 入力）** – セカンダリーオーディオを ⅛ インチ TRS ケーブルで接続します。
7. **OUTPUT TRIM KNOBS（出力トリムノブ）** – 各ポットを回して、スピーカー間の音量バランスを取ります。
8. **マウンティングブラケット** – 入出力ハウジングを、ネジ 2 つ（非付属）を使って机の下または壁に設置するためのブラケットです。
9. **LEVEL（レベル）ノブ** – 全体的な出力レベルを調節します。
10. **MONITOR SELECT（モニターセレクト）** – 3 つの出力のいずれかを選択します。3 番目の出力を選択すると、ヘッドフォン出力も有効になります。

キャリブレーテッドリスニング

キャリブレーテッドリスニングは基本中の基本で、多くの重要な利点をもたらします。その多くは、ミックスを最高のサウンドにするために不可欠な、一貫性に貢献するものです。ユーザーは、製作したミックスが自身の機器だけでなく、様々な環境で、いつでも、どのようなフォーマットでも良い音で鳴ることを切望していることと思います。

ミックスの際は日々同じ SPL レベルでおこなうことが重要で、というのも、ミックスが異なる音量で異なるやり方でおこなわれている場合が多いためです。システムをキャリブレートすることにより、一貫性の向上したミックスがおこなえるようになります。

キャリブレートリスニングにより...

- 異なる部屋での一貫性: 異なるミキシングスタジオ間および編集機材等の間でも、同じリファレンスレベル。
- 異なるセッション間の一貫性: 日が異なっても同じリファレンスレベルが可能。
- 異なるスピーカーセットでの一貫性: スピーカーセットア ップやオーディオフォーマットを切り替えても、同じリファレンスレベルが可能 。

キャリブレーション基準: EBU R128, SMPTE RP200, ATSC A85

ご使用のモニターセットアップのキャリブレーションには、様々な基準があります。どの基準を採用するかは、ミキシングするジャンル - ミュージック、TV、映画、ウェブ等によって異なるでしょう。

測定用のマイクロフォンまたはモバイルユニットを、ご使用の DAW での標準信号と併用し、DAW のオーディオレベルが聴取位置で標準的な SPL レベルになっているか確認します。モニターの感度セレクターと Monitor Pilot の +/-9 dB トリマーを使用し、スタジオモニターセットの、最良で、等しく、キャリブレートされたレベルを探します。

- スタジオモニターの感度を上げると、通常ノイズレベルも上がりますのでご注意ください。
- Monitor Pilot のリファレンスポイントは、出力トリマーが最大の場合、 リモートコントローラーの 3 時の位置で 0 dB ゲインとなります。
- キャリブレーションが手間な場合、トリマーを使用して全スピーカーセットの音量を同じにセットします。
- ヒント: スピーカーセット 3 およびヘッドフォン出力は共用です。3 番目のスピーカーセットが無い場合は、スピーカーセット 3 のトリマーを使用して、スタジオモニターと等しいレベルにヘッドフォンのレベルを調節してください。

一般的な注意事項

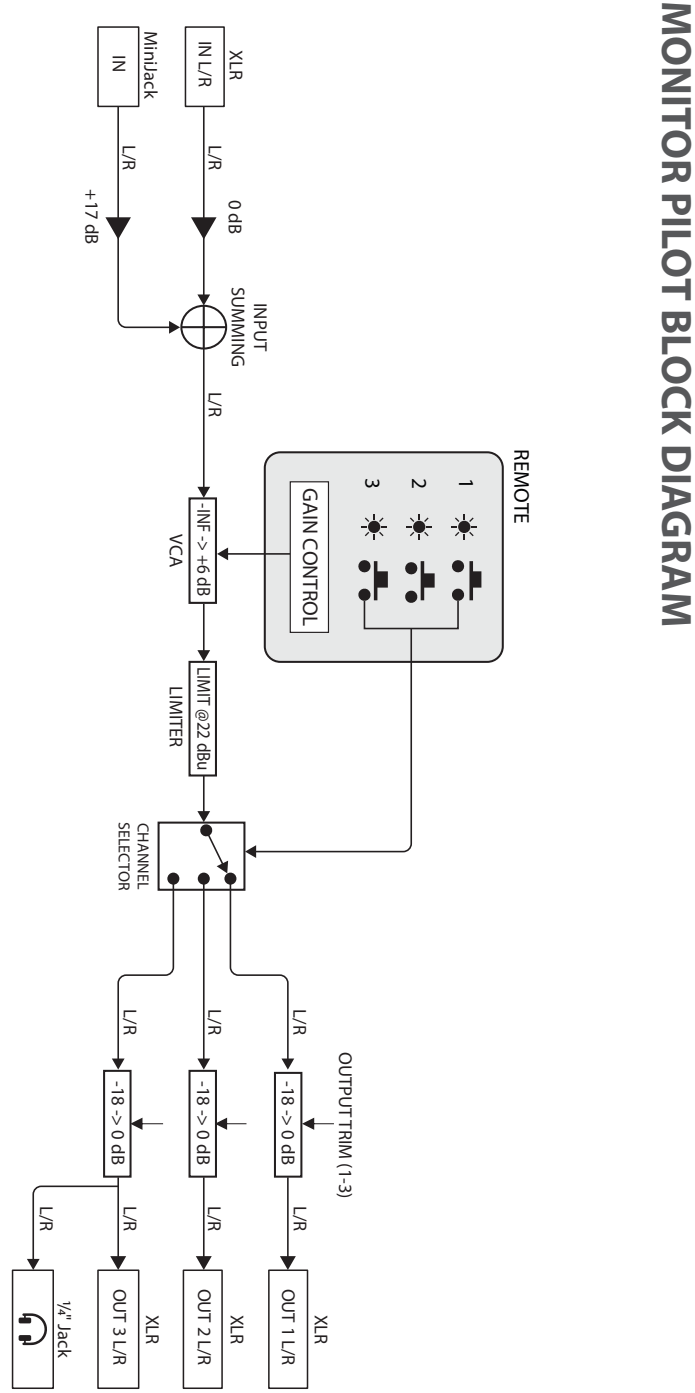
- Monitor Pilot がスタートアップ時は常にスピーカーセット 1 が選択されます。
- 1 度に有効化できるスピーカーセットは 1 つのみです。
- 無論、Monitor Pilot が状況に関わらず機能するよう注力されることでしょうが、まず、スピーカーの電源は最後に入れ、電源を落とす時は最後にするのを習慣にして、クリックノイズやポップノイズを避けてください。スピーカー損傷の恐れがあります。
- 内蔵リミッターにより、Monitor Pilot の最大レベル（スピーカーの最大レベルに関しても同様）を超えるレベルは制限されます。これはホットレベル、およびマスター音量が最大（+6 dB ゲイン）に設定されている場合におこります。 リミッターはそれ以外では作動しません。
- メイン XLR 入力および AUX ミニジャック入力は Monitor Pilot 内部で統合されます。
- システムで接続の着脱をおこなう際には、Monitor Pilot およびスピーカーはオフにすることを推奨いたします。

Monitor Pilot メインユニットは以下を考慮して設計されています :

- すっきりしたケーブルルーティング。
- 机の下の前部にマウントし、ヘッドフォン、AUX およびトリマーに容易にアクセス可能。
- または机の後ろ側に設置し、ヘッドフォン、AUX およびトリマーに容易にアクセス可能。付属のゴム足を使用して滑り止めにします。

JP

MONITOR PILOT BLOCK DIAGRAM



技術仕様

アナログ入力	
主な入力	2 x XLR、バランス
入力インピーダンス	10 kΩ 平衡、5 kΩ 不平衡
最大入力レベル	+22 dBu
補助入力	⅛" TRS、ステレオアンバランス
入力インピーダンス	500 Ω
最大入力レベル	+5 dBu
アナログ出力	
1-3 を監視する	2 x XLR、バランス
出力インピーダンス	100 Ω 平衡、50 Ω 不平衡
最大出力レベル	+22 dBu
電話	¼" TRS、ステレオ
出力インピーダンス	50 Ω
最大出力レベル	+22 dBu
システム（XLR 入力から XLR 出力）	
周波数応答	+ 0 / -0.2 dB、20 Hz 〜 20 kHz
ダイナミックレンジ	> 105 dB、（0 dB ゲイン）重み付けなし、帯域幅 20 Hz 〜 20 kHz
クロストーク	<-90 dB @ 1 kHz
最大ゲイン	+6 dB
出力ペアごとのトリムゲイン	-18 〜 0 dB
電源/電圧	
主電源電圧	100 〜 240 VAC、50/60 Hz
消費電力	最大 12W
電源	12 V DC、1000 mA（付属）
本体寸法/重量	
寸法（H xWx D）	39 x 261 x 70 mm（1.5 x 10.3 x 2.8"）
重量	0.6 kg（1.2ポンド）
終了	粉体塗装された黒い鋼板
リモート寸法/重量	
寸法（H x W x D）	37 x 53 x 78 mm（1.5 x 2.1 x 3.1"）
重量	0.2 kg（0.4 ポンド）
終了	アルミアルマイトノブ、金属足付きプラスチックボディ

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe 認定再販業者がお近くにない場合は、当社の web サイトの “Support” に記載されているお住まいの国の MusicTribe 認定フルフィラーに連絡することができます。お住まいの国がリストにない場合は、当社の web サイトの “Support” にもある “Online Support” で問題に対処できるかどうかを確認してください。または、製品を返品する前に、当社の web サイトでオンライン保証請求を送信してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。